

プレゼンテーションの実際

金沢大学附属図書館における学術情報リテラシー教育について

金沢大学自然科学系図書館
橋 美穂

平成24年度学術情報リテラシー教育担当者研修
2012年11月29日 (NII会場)

金沢大学附属図書館の概要 (1)

【金沢大学の概要】

学域・学類	3学域(人間社会・理工・医薬保健)16学類	
研究科	5研究科 (教育学・人間社会環境・自然科学・ 医薬保健学総合・法務)	
図書館利用対象者数 (平成24年5月1日現在)	【学生】	
	学類	7,989人
	大学院・法務研究科	2,468人
	研究生等	206人
	【教職員】	2,632人

金沢大学附属図書館の概要 (2)

【金沢大学附属図書館】

附属図書館の構成	中央図書館 ・ 自然科学系図書館 医学系分館 ・ 保健学類図書室
蔵書冊数 (平成23年度・全館)	図書 1, 823, 511冊 雑誌 35, 606種
開館総日数 (平成23年度・中央図書館)	320日 (平日239日, 土曜37日, 日曜44日)
入館者数 (平成23年度・全館)	753, 092人
館外貸出者数 (平成23年度・全館)	82, 021人
館外貸出冊数 (平成23年度・全館)	140, 523冊

金沢大学附属図書館における 学術情報リテラシー教育（1）

年代	内容
丸の内キャンパス～1989	新入生オリエンテーションのみ
角間キャンパス 1990～1991	新入生オリエンテーション 卒論を書く人向け説明会（単発） 毎週、館内で説明会を実施
1992～1997	新入生オリエンテーション ゼミ単位説明会（On demand）
1998～2005	新入生オリエンテーション 総合科目「大学図書館と図書に親しむ」 （60名程度，共通教育・選択科目） ゼミ単位説明会（On demand）
2006～現在	大学・社会生活論 情報処理基礎 ゼミ単位説明会（On demand）

金沢大学附属図書館における 学術情報リテラシー教育（２）

◆ 現在実施中のリテラシー教育の種類

① 講習会【附属図書館主催】

文献収集法講座，データベース講習会（外部講師），
ゼミ・研究室・学年単位の文献検索法講習会など

② 講習会【大学教育開発・支援センター主催】

就職活動準備講座，レポートライティング講座など

③ 授業【全学類1年生必修科目】

大学・社会生活論，情報処理基礎

金沢大学附属図書館における 学術情報リテラシー教育（3）

平成23年度実績（1）

① 講習会【附属図書館主催】

回数	館名	名称	講師
2	中央図書館	レポート作成基礎講座	図書館職員
1	中央図書館	文献収集法講座 & お探し文献相談会	図書館職員
1	自然科学系図書館	SciFinder講習会	外部講師
1	自然科学系図書館	Web of Science講習会	外部講師
1	医学系分館	Web of Science講習会	外部講師
1	中央図書館	ジャパンナレッジ講習会	外部講師
6	中央図書館	文献検索法講習会【ゼミ・研究室・学年単位】	図書館職員
1	自然科学系図書館	文献検索法講習会【ゼミ・研究室・学年単位】	図書館職員
2	医学系分館	文献検索法講習会【ゼミ・研究室・学年単位】	図書館職員
2	保健学類図書室	文献検索法講習会【ゼミ・研究室・学年単位】	図書館職員

金沢大学附属図書館における 学術情報リテラシー教育（４）

平成23年度実績（2）

②講習会【大学教育開発・支援センター主催】

回数	館名	名称	講師
1	中央図書館	文献検索法講習会・館内ツアー 【留学生対象】	図書館職員
2	中央図書館	就職活動準備講座	教員
2	中央図書館	レポート・ライティング・ワークショップ	教員
1	中央図書館	プレゼンテーション・セミナー	教員

金沢大学附属図書館における 学術情報リテラシー教育（5）

平成23年度実績(3)

③授業【全学類1年生必修科目】

回数	実施期間	授業科目	講師
14	4/11～ 5/31	大学・社会生活論 【図書館の紹介及び利用方法について 各学類にて1回講義】	図書館職員
35	5/13～ 5/31	情報処理基礎 【図書館を利用した学術情報の検索方法 について各学類にて1～2回講義・実習】	図書館職員

「大学・社会生活論」について (1)

◆「大学・社会生活論」の概要

①全学類1年生の必修科目

(大学における学習方法・目的や大学生として必要な常識・知識などを学ばせることが目的)

②授業回数は全13～15回

(学類によって異なる)

③このうち1回を『大学図書館の利用法』として 附属図書館職員が担当

(平成18年度の開講当初から)

「大学・社会生活論」について (2)

◆ 「大学・社会生活論」講義スケジュール(平成24年度)の例

回数	テーマ	日時	担当者
第1回	ガイダンス	4月9日	教員
第2回	大学図書館の利用法	4月16日	附属図書館職員
第3回	大学の使命・学類の使命	4月23日	教員
第4回	ハラスメント	5月7日	教員
第5回	金沢大学ー伝統と創造ー	5月14日	教員
第6回	消費者被害に遭わないために	5月21日	外部講師
第7回	大人の交通マナー	5月28日	外部講師
第8回	健康論	6月4日	教員
第9回	人権論	6月11日	教員
第10回	留学と国際交流	6月18日	教員
第11回	学問論	6月25日	教員
第12回	ボランティアと地域貢献	7月2日	教員
第13回	まとめ	7月9日	教員

「大学・社会生活論」について (3)

◆ 授業実績

年度	学生数 (学類1年生)	コマ数	担当職員数	対象者
H18(2006)	1,841	11	7	係長
H19(2007)	1,799	11	7	係長
H20(2008)	1,827	12	8	係長
H21(2009)	1,821	12	8	係長
H22(2010)	1,801	13	13	全職員
H23(2011)	1,814	14	12	全職員
H24(2012)	1,657	14	13	全職員
計	12,560	87	68	

「大学・社会生活論」について (4)

◆ 授業内容(90分授業)

①各学類教員による図書館利用体験談

(20分程度・学類によっては無し)

②附属図書館制作DVD『図書館へ行こう!』上映

(15分程度・2011年3月制作)

③附属図書館職員による説明

(50分程度・①無しの場合は適宜延長)

④感想票の記入・提出

(5分程度・感想票提出が出席確認となる)

「大学・社会生活論」について (5)

◆ 授業内容に関する工夫

① 図書館案内DVDの活用(15分程度)

- ・当初から授業に利用
- ・H18(2006), H21(2009), H23(2011)に制作
- ・現在は『図書館へ行こう!』
- ・附属図書館Webサイトにも掲載(英語字幕版あり)

② 教員の図書館利用体験談(20分程度)

H20(2008)～

「大学・社会生活論」について (6)

◆ 事前準備

① パワーポイント資料作成・改訂

『学術情報リテラシー教育推進ワーキンググループ』のメンバーを中心に、講師担当者間で意見交換

② 事前説明会

担当者で授業実演・DVD内容確認など

③ 授業見学

他の講師の担当授業をできるだけ事前見学
(そのため授業経験者を早い時期の担当とする)

「大学・社会生活論」について (7)

- ◆ 授業実施後(次年度の準備)
 - ① 授業実施後に来年度に向けて意見交換
ワーキンググループのメンバーその他で
スタッフ用メールなどを利用して意見交換
 - ② 受講生の感想票の活用
記載内容の確認, 必要であればスタッフ用
メールなどで担当者に連絡

「大学・社会生活論」について (8)

◆ 課題(1)

①学類ごとの授業内容の検討

人文系・自然系・医学系など，それぞれの学類によって説明内容の追加，パワーポイント資料の改訂などが必要

②授業内容の均一性(担当者による差異をなくす)

同一のパワーポイント資料を使用，できるだけ説明内容を一定の水準に保つよう各担当者の事前準備(練習など)が必要

「大学・社会生活論」について (9)

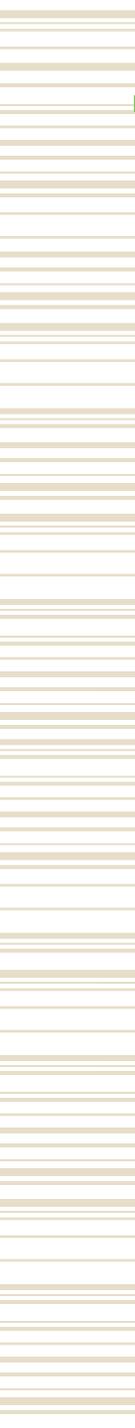
◆ 課題(2)

③説明内容の改訂

図書館増改築・設備の新設などに伴って常に
パワーポイント資料や説明の内容改訂が必要

④担当者の育成

H22(2010)～ほぼ全(常勤)職員が担当
初心者(新任職員など)の指導が必要



ありがとうございました



**金沢大学自然科学系図書館
(橋 美穂)**